



# かごしま 県議会だより

第 46 号

平成19年12月28日(年2回発行)

編集発行 鹿児島県議会  
☎890-8577  
鹿児島市鴨池新町10番1号  
電話 099-286-2111(代)

かごしま県議会だよりは、点字版、音声版を発行しています。お問い合わせは、県議会事務局まで。

## 県議会この1年の動き



知事への政策提言(10月)



環境生活厚生委員会が産廃処理施設候補地を視察(5月)



御支援・御協力をお願い申し上げます。

平成二十年も、県民の皆様とともに鹿児島県の発展のために精一杯努めていきたいと考えておりますので、

今年、財政問題が一段と課題となった年でした。地域間の財政力格差が問題となる中、本県の今後五年間の「当面の財政収支の見通し」が発表され、県の厳しい財政状況が示されましたが、財政改革を進める中で、必要な施策にどう取り組むかが課題となっております。また、昨年末成立した地方分権改革推進法が施行され、地方の主体性や自己責任が一層求められてきており、地方議会の果たすべき役割と責務は従来にも増して重いものとなっております。

このような中、県議会では、監視機能の強化や政策提言型の議会審議を行ってきけることに加え、新たに、知事等への政策提言や政策条例の検討を行う「政策立案推進検討委員会」を設置し、去る十月十五日、知事に提言を行ったところであります。

### 平成十九年を振り返って

鹿児島県議会議長 金子万寿夫



企画建設委員会が「さんふらわあ」を利用した行政視察を実施(8月)



「地方財政危機突破！鹿児島県総決起大会」(11月)

議会映像配信中 (本会議の様子がインターネットで御覧になれます)



会議録掲載中 (本会議、委員会の会議録がインターネットで検索、閲覧できます)

県議会ホームページ <http://www.pref.kagoshima.jp/gikai/>

## 定例会を振り返る

## 平成19年第2回定例会

## 産業廃棄物管理型最終処分場問題、警察行政、行財政問題などを論議

平成十九年第二回定例会を、六月十二日から七月二日までの二十一日間にわたって開き、一億五千五百万円の一般会計補正予算案、市町村合併に伴う南九州市の廃置分合議案など二十六件の議案を可決、同意又は承認しました。

また、「奄美群島における揮発油税及び地方道路税の軽減措置」など

八件の陳情を採択するとともに、「米

国産牛肉輸入条件協議に関する意見書」など

二件の意見書を可決しました。

一部オープンした「マリンポートかごしま」(9月28日)



本会議では、自民党県議団の堀之内芳平議員、民主・社民・無所属連合の二牟礼正博議員が代表質問を、各党派等の十六名が一般質問を行い、それぞれ県の将来ビジョン、産業廃棄物管理型最終処分場問題、警察行政、行財政問題、医師確保対策、肥薩おれんじ鉄道の経営などに論戦を展開しました。

## 可決した意見書

・米国産牛肉輸入条件協議に関する意見書

## 平成19年第3回定例会

## 五十四億円余の一般会計補正予算案を可決、行財政問題、川内原子力発電所の耐震強化対策などを論議

平成十九年第三回定例会を、九月二十日から十月十五日までの二十六日間にわたって開き、台風第四号などの災害復旧に要する経費を含む一般会計補正予算案、鹿児島県教育委員会の人事同意議案など十九件の議案を可決、同意又は承認しました。また、平成十八年度決算認定議案三件は継続審査することとしました。

このほか、「離島航路の経営維持に対する補助金の増額について」など六件の陳情を採択するとともに、「後期高齢者医療制度の見直しを求める意見書」など八件の意見書を可決しました。

本会議では、自民党県議団の外園勝蔵議員、岩崎昌弘議員、民主・社民・無所属連合の上村勝行議員、

・離島・へき地における医療の充実・強化を求める意見書

## 委員会の審査状況等

各常任委員会は、それぞれ、付託議案のすべてを可決又は承認すべきものと決定するとともに、請願・陳情についても採択・不採択の適否等を決定し、併せて、意見書の発議(二件)を決定しました。

このほか、組織機構改革の推進、森林資源の活用、マリンポートかごしまの整備、商店街の活性化対策、鹿児島湾ブルー計画、鹿児島港本港区北ふ頭移転問題などについて種々論議を交わしました。

また、行財政改革特別委員会を六月二十日に設置し、行財政構造改革への取組状況について調査しました。

公明党県議団の持富八郎議員が代表質問を、各党派等の十六名が一般質問を行い、それぞれ、行財政問題、産業廃棄物管理型最終処分場問題、奄美・沖繩航路の移転問題、川内原子力発電所の耐震強化対策、鹿児島市谷山地区等の交通渋滞対策などに論戦を展開しました。

## 可決した意見書

・魚粉飼料の高騰対策に関する意見書  
・離島航路の経営維持に対する補助金の増額に関する意見書

・高規格幹線道路等の早期整備及び道路特定財源の確保に関する意見書  
・中小企業の事業承継円滑化のための税制措置等

に関する意見書

- ・私学助成制度の充実・確保に関する意見書
- ・割賦販売法の抜本的改正に関する意見書
- ・後期高齢者医療制度の見直しを求める意見書
- ・BSE全頭検査の継続を求める意見書

**委員会の審査状況等**

各常任委員会は、それぞれ、付託議案のすべてを可決又は承認すべきものと決定するとともに、請願・陳情についても採択・不採択の適否等を決定し、併せて、意見書の発議（八件）を決定しました。

このほか、公社等外郭団体見直しの状況、「かごしま食と農の県民条例」に基づく施策の実施状況、景観条例、雇用対策の推進、全国健康福祉祭（ねりんピック）などについて種々論議を交わしました。



台風4号により5戸全壊の被害が発生した  
垂水市二川地区  
(7月14日)

また、

行財政改革特別委員会は、歳入確保及び歳出削減に向けた取組について調査し、行財政構造改革へ向けた取組についての中間報告を行いました。

**平成19年第4回定例会**

**景観条例案、防災対策基本条例案を可決**

**かごしま将来ビジョン、警察行政などを論議**

平成十九年第四回定例会を、十一月三十日から十二月二十日までの二十一日間にわたって開き、平成十九年度一般会計補正予算案、市町村合併に伴う伊佐市の廃置分合議案など二十八件の議案を可決、認定又は承認しました。

また、「平成二十年度私立学校運営費補助金の拡充について」など七件の陳情を採択するとともに、「道路特定財源の確保に関する意見書」など八件の意見書と「暴力団等による暴力の根絶に関する決議」を可決しました。

本会議では、自民党県議団の酒匂卓郎議員、民主・社民・無所属連合のくしげ勝美議員が代表質問を、各党派等の十六名が一般質問を行い、それぞれ、かごしま将来ビジョン、警察行政、景観条例、入札制度改革などに論議を展開しました。

**可決した意見書等**

- ・米国の「北朝鮮に対するテロ支援国家指定解除」の動きに反対する意見書
- ・配合飼料価格安定対策の充実・強化を求める意見書
- ・漁業用燃油高騰への緊急対策を求める意見書
- ・肥薩おれんじ鉄道への支援に関する意見書
- ・道路特定財源の確保に関する意見書
- ・国民皆保険制度等に関する意見書
- ・地方議会議員の位置付けの明確化に関する意見書
- ・教育改革を求める意見書
- ・暴力団等による暴力の根絶に関する決議



「かごしま将来ビジョン」の骨子案  
について知事等が説明  
(11月30日)

**委員会の審査状況等**

各常任委員会は、それぞれ、付託議案のすべてを可決又は承認すべきものと決定するとともに、請願・陳情についても採択・不採択の適否等を決定し、併せて、意見書の発議（六件）を決定しました。

このほか、かごしま将来ビジョン、原油価格高騰による施設園芸農家への影響、保健医療計画などについて種々論議を交わしました。

また、行財政改革特別委員会は中間報告を踏まえた取組、平成二十年度予算編成に向けた取組について調査しました。

# 県内を巡って (常任委員会行政視察)

## 総務警察委員会

総務警察委員会は、行財政対策、危機管理及び消防防災対策、警察行政等を主眼に、五月に肝属地区、七月に北薩・始良地区、十一月に十島村の行政視察を行いました。

行財政対策については、肝付町と十島村で首長や議会議長等と財政運営や行財政改革に関する意見交換を行いました。また、出先機関の組織機構改革に伴い設置された、地域振興局・支庁の組織体制及び新たな機能について調査を行いました。

危機管理及び消防防災対策については、視察の直前に新潟県中越沖地震により柏崎刈羽原発で火災等のトラブルが確認されたことから、川内原発の安全対策、危機管理体制について調査・確認を行いました。



共生・協働の地域社会づくりについて意見交換  
(鹿屋市柳谷町内会)

また、垂水市で取組を進めている災害時の要援護者避難支援対策としての「垂水ほっとメール」の活用状況の調査を行いました。

警察行政については、薩摩川内警察署や駐在所、自主防犯組織などの視察を行い、県民の安心・安全のために現場の最前線で活躍する若手や女性警察官との意見交換や独自の自主防犯の取組を実施している錦江町わんわんパトロール隊との意見交換を行いました。

各委員会においては、それぞれ所管する事務について、実際に見聞したことを審査又は調査の参考とする目的から、県内各地の行政視察を実施しています。

## 農林水産委員会

農林水産委員会は、農林水産業の振興対策等を主眼に、五月に大隅地区、八月に大島地区、十一月に鹿児島・南薩地区の行政視察を行いました。

農業振興については、肝属地区指導農業士会の方々と、安心・安全な農産物の生産や担い手育成対策等について意見交換を行いました。

また、軟弱野菜の周年出荷や契約取引を行っている一里原営農団地(鹿児島市)や、棚田を活かした農業体験等に取り組んでいる鹿児島市八重地区を視察するとともに、肉用牛改良研究所における肉用牛改良促進と優良種雄牛造成の取組等を調査しました。

林業振興については、かごしま森林組合、川辺地区林材協会の方々と意見交換を行い、森林組合の経営基盤の強化や、森林資源の生産・加工・流通体制の整備に係る実情や課題の把握に努めました。



森林環境税を活用した机・椅子の整備  
(曾於市立笠木小学校)

森林環境税を活用した教卓、机、椅子等の整備(曾於市立笠木小学校)や間伐(指宿市)の実施状況等を視察しました。

水産業振興については、奄美群島水産振興協議会・青年協議会の方々と意見交換を行い、大中型まき網漁業の操業禁止区域の拡大や一県一漁協の実現に向けた課題等について把握しました。

## 企画建設委員会

また、クロマガドロの養殖場(瀬戸内町)を視察し、安定供給の課題等について調査しました。さらに、各視察を通して、燃料・飼料等の高騰に伴う農林水産業への影響についても調査しました。

企画建設委員会では、所管事項であります県政の重要計画、交通・情報通信体系の整備、県土の保全及び生活環境の整備等を主眼に、五月に熊毛地区、七月に北薩地区、十一月に南大隅・南薩地区の行政視察を行いました。

広域幹線交通網の整備については、「肥薩おれんじ鉄道」に体験乗車するとともに、各駅で活動しているNPO法人の代表の方々と意見交換を行いました。

高規格幹線道路の整備については、北薩縦貫道路及び南薩縦貫道路などを視察し、整備の進捗状況や今後の計画等について説明を受けました。

離島振興の面では、種子島・屋久島において西之表港や島間港などの港湾整備、白谷雲水峡宮浦線などの県道整備、上叶川の防災事業等を視察し、それぞれの課題の把握に努めました。



上叶川総合流域防災事業の現場(屋久島町)

なお、八月の県外視察では、「さんふらわあ」を利用するとともに、乗船前に志布志航路利用促進協議会と意見交換を行い、利用促進に資する今後の方策等について、貴重な御意見と要望を伺いました。(表紙写真参照)

### 文教商工観光労働委員会

文教商工観光労働委員会は、商工業及び観光振興対策、教育振興対策等を主眼に、五月に南薩・川薩地区、七月に肝属・曾於・始良地区、十一月に奄美地区の行政視察を行いました。

観光振興については、指宿市の篤姫ゆかりの地の史跡やハード整備状況の調査を行いました。また、

「かごしまよかとこ一〇〇選」に選定された西郷南洲たっ居跡などの観光資源の現状等について広く調査を行いました。さらに、霧島の観光の現状と今後の課題をテーマ

に、霧島市の観光協会の方々と意見交換を行い課題の把握に努めました。

商工業の振興については、鹿屋市産業支援センターにおいて中小企業の支援、地場産業の育成や雇用創出の取組について説明を受けました。また、シ

ラスの活用など最先端の技術を持った企業を調査して貴重な御意見をいただくことができました。さらに、商店街の活性化をテーマに奄美市の商店街の方々と意見交換を行いました。

教育振興については、小・中・高の学校を訪問し、小学校における食育や中学校における職場体験教育の取組、再編整備された高等学校における課題の把握、高校における特色ある職業教育の取組、養護学校における特別支援学校としての取組などを視点に調査を行うとともに、授業参観やふれあい給食等の中で、児童・生徒の皆さんの声を伺いました。



児童とのふれあい給食(奄美市立緑が丘小学校)

### 環境生活厚生委員会

環境生活厚生委員会は、青少年の健全育成や環境対策、少子化対策、高齢者・障害者等の保健福祉の

増進等を主眼に、五月に奄美地区、八月に鹿児島・県央地区、十一月に鹿児島・南薩地区の行政視察を行いました。

視察では、地域福祉の最前線で活動しているあしたば園や麦の芽福祉会、青少年健全育成に取り組みゆずり葉の郷、かごしま静活館、そのほか鹿児島市、知覧町、奄美市、与論町等の福祉施設や医療施設で関係者等と、課題や今後の方策等を共に考える機会を得ることができました。

また、消費生活相談等に取り組み県消費生活センター、地域医療に貢献する県立病院などの県有施設をはじめ、産学官の連携でがんの先端治療をめざすメデイポリス指宿、海中エクササイズによるタラソテラピーに取り組み与論コーラルホテルなど様々な民間施設についても積極的に視察を行いました。

また、鹿児島大学医学部・歯学部附属病院においては、県内の医師の確保やドクターヘリによる救急搬送に関して、それぞれの役割、課題、対応等について意見交換を行いました。



障害福祉サービス事業所あしたば園(奄美市)

公共関係による産業廃棄物管理型最終処分場の候補地に選定された薩摩川内市川永野地区の採石場跡地については、地形・地質の特性、周辺環境保全等について調査し、担当部局に対して住民に対する十分な説明と調査結果の情

報公開に努めるよう求めました。(表紙写真参照)

# トピックス

## 政策立案機能充実へ向け 検討委員会を設置



政策立案推進検討委員会における検討状況

地方分権の進展に伴い、議会の政策立案機能を更に充実するため、今年六月、政策提言や政策条例の検討を行う、全会派で構成する「政策立案推進検討委員会」を設置しました。

同委員会の検討結果を踏まえ、今年十月には知事に対し離島医療の充実に関する次の二項目の政策提言を行いました。(表紙写真参照)

○産科医療機関がない離島の妊婦の出産等に係る助成制度の創設

産科医療機関がない離島の妊婦が島外で検診を受けたり出産する際の交通費や宿泊費の一部を助成すること等。

○鹿児島大学等との連携による医師の安定的確保

離島・へき地での勤務を条件とする奨学金制度を創設し、制度を活用した鹿児島大学医学部の入学定員の増加を図ること及び医師確保に向けた財源確保のため県や市町村、医療機関等県民一体となった基金設置を検討すること等。

## 都道府県議会議員 研究交流大会に参加

平成十九年十一月十六日、東京において、全国都道府県議会議長会主催による「第七回都道府県議会議員研究交流大会」が開催され、本県議会からも十三名の議員が参加しました。

今回は、「道州制を考える」都道府県制



分科会でパネリストを務める金子議長

の将来」をメインテーマにパネルディスカッションが行われ、会場の参加者も加わって、活発な意見交換が行われました。

その後、五つの分科会に分かれ、「広域自治体としての都道府県のあり方」や「住民に身近な議会の実現に向けて」などのテーマ別に意見交換が行われました。中でも「議会の監視機能の強化について」をテーマとした第四分科会では、本県議会の金子万寿夫議長がパネリストとして登壇し、「予算特別委員会」や「政策立案推進検討委員会」の設置など本県議会で取り組んでいる議会の監視機能や政策立案機能の強化についての事例紹介を行い、これらの取組などについて参加議員との活発な意見交換が行われました。

## 韓国全羅北道議会訪問団が 鹿児島県議会を視察

平成十九年十月二十九日から三十日までの二日間、韓国・全羅北道議会訪問団（ハ・デシク副議長等十五名）が本県議会を訪問し、本県議会議員との意見交換会が行われました。

今回の訪問は、平成十三年度に両議会の間で締結した「交流協力に関する合意書」に基づく相互交流の一環として行われたもので、今回で四回目となります。

意見交換会においては、今後とも相互交流を継続し、九月に全羅北道で行われた鹿児島・全羅北道交流会議での合意事項を推進していくことを確認したほか、産業界を含めた交流促進や青少年の交流

などについて、今後、具体化に向けて協議していくことを確認しました。



訪問の挨拶をする全羅北道議会 ハ・デシク副議長

## 九州各県選出国會議員と 意見交換

九州各県選出国會議員と九州各県議会議長会との意見交換会が、十一月十六日、東京で行われました。

これは国會議員に地方の実情を理解してもらうことが必要との認識から、九州各県議会議長会の呼びかけで昨年から開催されているもので、今年も、国會議員六十六名（代理含む）と九州各県議会議長の正副議長等七十三名が参加しました。

九州各県議会議長会からは、

- ・地方交付税制度の財源保障機能・財源調整機能を堅持し、併せて地方交付税総額の確保を図ること。
- ・道路特定財源制度を堅持し、全額を道路整備費に充当すること。



約170名が出席した「南九州観光振興会議」

### 観光振興議員連盟

同議員連盟は、観光関係諸団体と連携を図りながら、県議会として積極的な施策を講ずるための各種活動を行っています。

## 議員連盟の活動状況

・地方議会議員の法的地位付けを明確化する  
などの意見が出されました。  
国会議員からは、議会側の意見に賛同し、疲弊している地方を支援していくと

の見解等が示されました。  
なお、当日出された意見・要望については、賛同した議員の署名を添えて九州各県議会議長会で関係省庁等へ要望を行いました。

す。

十一月九日には、鹿児島市において、南九州三県（鹿児島県、熊本県、宮崎県）の県議会観光振興議員連盟の会員と観光を支える関係者が一堂に集い、第十五回南九州観光振興会議を開催し、観光産業の育成振興に関する課題等について意見交換を行いました。

### 南九州西回り自動車道建設促進議員連盟

同議員連盟は、南九州西部地域の振興を図るため、その基盤となる南九州西回り自動車道の建設を促進するための活動を行っています。

今年、八月に福岡の国土交通省九州地方整備局への要望活動を行うとともに、十一月には、東京で開催された建設促進大会に鹿児島・熊本両県の関係者とともに参加し、大会終了後、国土交通省などに同自動車道の整備促進を強く要望しました。

### 伝統的工芸品産業振興議員連盟

同議員連盟は、川辺仏壇や薩摩焼などの伝統的工芸品の振興発展を図るための

活動を行っています。

第三回県議会定例会では、同議員連盟の発案により、議員自らが伝統的工芸品を使用し、その良さを実感することで、説得力のあるPRをしようとして、全議員が大島紬でつくったネクタイやスカーフなどを着用して十月十五日の最終本会議に臨みました。

### 議会経費削減を決定

海外行政研修視察の休止、費用弁償の減額、議員報酬減額の継続

本県財政は引き続き極めて厳しい状況が見込まれています。

県議会では、これまで議員報酬の削減等により経費削減に努めてきましたが、全議員合意のもと、次のとおり議会経費の削減を決定しました。

- 海外行政研修視察を今任期中（四年間）休止する。
- 費用弁償の額を平成二十年度から減額する。
- 議員報酬について、現在行っている議長十五％、副議長十二％、議員十％の削減を平成二十年度も継続する。

今後とも、県議会としても一日も早い財政健全化が図られるよう、取り組んでまいります。

### 政務調査費の新たな取扱い方針を決定

県議会は、平成十九年五月、政務調査費検討委員会を設置し、政務調査費の使途の透明性を高め、議員活動の内容について、より県民の皆様理解していただくための具体的な方策について検討してきましたが十月十二日、検討結果を取りまとめ、平成二十年度からスタートさせることとしました。

新たな制度の内容は、次のとおりです。

なお、これに必要な規則改正等は三月議会までに終えることといたします。

○政務調査費に係る全ての支出について、領収書又はそれに代わる証拠書類を添付することとしました。

○政務調査費の使途について、項目別運用指針を定め、政務調査費が充当できる具体例や充当に当たつての留意点等を明らかにしました。

○その他、政務調査費の充当が不適当な経費や収支報告書へ添付すべき書類を定めました。

## 県議会の傍聴

県議会の本会議は、どなたでも傍聴できます(18歳未満の方は、議長の許可が必要です)。傍聴を希望される方は、本会議の開かれる日に、傍聴席入り口で傍聴券の交付を受けてください。

傍聴席には、補聴設備や車椅子の傍聴スペースもあります。

常任委員会、特別委員会についても、委員長の許可を得て傍聴することができます。

### 予算特別委員会 (定数26名)

平成二十年年度の当初予算に関する調査及び予算議案の審査を行います。(◎委員長 ○副委員長)

◎尾辻 義	○青木 寛	長田 康秀	通昌 幸一	川野 威朗	中山 信一	小園 成美	酒匂 卓郎	吉留 厚宏	まつざき真琴	岩崎 昌弘	持富 八郎	吉永 守夫
大園 清信	鶴田 志郎	桐原 琢磨	外菌 勝蔵	武 昭一	山口 修	池畑 憲一	小幡 兼興	山田 宏之	吉野正二郎	上野 新作	川原 秀男	二牟礼正博

## 県議会庁舎の見学

議会庁舎は、どなたでも見学できます(所要時間約30分)。職員が本会議場や委員会室などを案内します。

### 〔見学者の紹介(平成19年度)〕

日付	団体名	人数
5月23日(水)	屋久町立神山小学校・八幡小学校	30
6月26日(火)	鹿児島市立西谷山小学校	112
7月2日(月)	鹿児島市立武小学校	31
7月6日(金)	始良町立帖佐中学校	24
7月17日(火)	大崎町老人クラブ	45
7月23日(月)	薩摩川内市亀山地区コミュニティーセンター	44
8月6日(月)	南さつま市立坊泊中学校PTA	20
	県人事課インターンシップ	10
8月8日(水)	ユースウイング鹿児島団	14
8月29日(火)	さつま町立宮之城中学校PTA	23
9月11日(火)	蒲生町あやめ学級	50
9月19日(水)	伊佐小菜園の会	80
9月27日(木)	南さつま市金峰町大田・白川地区高齢者教室	19
10月1日(月)	南さつま市金峰町阿多地区高齢者教室	65
10月5日(金)	錦江町立田代小学校4、5年生	17
10月12日(金)	垂水市立柘原小学校5、6年生	24
10月18日(木)	さつま町しび高齢者学級	11
10月19日(金)	頤娃町立宮脇小学校	24
10月22日(月)	鹿屋市寿4丁目萌寿会	23
10月24日(水)	南さつま市加世田武田老人クラブ	16
10月26日(金)	南さつま市金峰町大坂・笹連地区高齢者教室	31
11月12日(月)	鹿屋市西原4丁目町内会	15
11月16日(金)	南さつま市金峰町田布施地区高齢者教室	70
11月19日(月)	日置市伊集院町朝日ヶ丘友々会	28



頤娃町立宮脇小学校の皆さん



伊佐小菜園の会の皆さん

見学を希望される方は、議会庁舎受付又は総務課総務係までお申し込みください。

なお、団体で見学を希望される場合は、あらかじめ総務課総務係まで御連絡ください。

連絡先 鹿児島県議会事務局総務課総務係  
099-286-2111 (内線5014)

## 事務局の組織と問い合わせ先

県議会についてのお問い合わせは、県議会事務局の各課・室へお寄せください。

### 総務課

- 議会の庶務、経理
- 議員報酬、費用弁償
- 議会案内
- 資産公開
- 議会施設の管理

TEL:099-286-5013  
FAX:099-286-5655

### 秘書室

- 正副議長の秘書事務
- 議員表彰
- 礼遇議員

TEL:099-286-5017  
FAX:099-286-5656

### 議事課

- 本会議
- 議会運営委員会
- 常任、特別委員会
- 会議録
- 請願、陳情

TEL:099-286-5033  
FAX:099-286-5659

### 政務調査課

- 県政に係る調査
- 資料・情報の収集
- 議会資料の作成
- 議会広報
- 情報公開窓口
- 議会図書室の管理

TEL:099-286-5043  
FAX:099-286-5659

## 県議会のホームページ

- 定例会情報、請願・陳情の手続き、議員紹介、会議録検索、広報テレビ番組の放送日時等を掲載しています。
- ホームページに対する御質問・御意見をお寄せください。

ホームページアドレス

<http://www.pref.kagoshima.jp/gikai/>



「かごしま県議会だより」は、古紙配合率70%の再生紙と大豆インキを使用しています。